

医者は今後、ワクチン産業が「科学」と認めるもの以外 何も問えない

反論すれば「ニセ情報」帝王ドクターによって医師免許を剥奪

<https://www.infowars.com/posts/doctors-can-no-longer-question-anything-the-vaccine-industry-calls-science-or-they-get-targeted-for-de-licensing-by-dr-richard-misinformation-baron/>

S. D. Wells | NaturalNews.com

October 3, 2023

一人の権威ある医療委員会長に同意しない医師は、医師免許を剥奪される危険があることが明らかになった。この大物ドクターは、バイデン政権の過激な COVID（コロナ）計画に賛成しており、彼はファイザー、モデルナ、また CDC（疾病予防管理センター）のような PR 会社の、代表者であることが、たまたま判明した。

国際医療アメリカ委員会 (ABIM) の会長で責任者 Richard Baron は、2021 年以来、COVID やワクチンについて「ニセ情報」を撒き散らしたと彼が考える医師たちを、公然と攻撃してきた。バロンは、COVID-19 ワクチンをわずかにでも批判する者を許さず、ABIM を使って、全国の医師から免許を取り上げることに成功した。彼は ABIM のウェブサイトを投稿して、自分の独裁的な権威を表明し、「私は ABIM が、州の免許委員会とは独立に、医師の反職業で非倫理的な振舞いに対しては、医師免許の停止など、断固とした行動を取っており、それができると明確に申し上げたい」と言った。

免許を取り上げられた医者の中に、Dr. Mary Kelly Sutton がいる。この統合医療医師は、8 人の子どもたちを、必要とされる学校休暇行事から不当にも免除したと言われた。サトン女史は常に、子どもの親たちに必要な情報を与え、子どもたちのために「インフォームド・コンセント」がなされることを優先していた。しかし今、ABIM のような特別の委員会が、彼女の習慣を禁止し、曖昧な非難と「あるまじき権力濫用」によって、彼女を違法とした。

全国の医者たちが COVID ワクチンの安全について、発言し始める前に、バロンは決して「間違い情報」について公的な懸念を表明したことはなかった。

<https://www.naturalnews.com/2023-01-16-fda-commissioners-demand-tools-fight-online-misinformation.html>

また彼は自分が、この問題についての専門の権威者であると主張したこともなかった。しかし今、我々に分かっていることは、バロンが Weber Shandwick 社と同衾しており、それは「間違ったニセ情報」の専門家として知られる、PR 会社だということである。

ウェーバー・シャンドウィックは、世界で 2 番目に大きな PR 会社である。彼らのウェブサイトによれば、彼らは戦略と分析の専門家であり、創造的なデザインと内容、パブリック・リレーションズとマーケティング、組織化する改変行動、それに風評危機とリーダーシップを専門としている。ファイザーやモデルナのようなワクチン製造会社は、ウェーバー・シャンドウィックと提携し、彼らのいわゆる現代医学の奇跡を造り出してきた。

ファイザーは、2022 年に 28 億米ドルの広告収入を費やしており、これが彼らの致命的な、mRNA ワクチンというニセ情報キャンペーンの中心となった ——以下、翻訳は省略——

COVID ワクチンと 5G の 2 元兵器システム：人が知るより遥かに危険

<http://stateofthenation.co/?p=189181>

SOTN

October 3, 2023



2 元兵器システム

COVID-19「ワクチン」は、人に障害を与え、殺す、人間変造生物兵器として、開発されただけではない。それは2019年に、5Gのパワー・グリッドと同調して働くように化学的に考案され、2020年1月の、COVID-19生物作戦の開始直前に、それは意図的に配置された。



SOTN 編集者ノート：次の引用は、2020年末以来、Covid ワクチンによる障害コンサルタントとして働いてきた、ある統合ヘルス・コンサルタントによるものである。

このスローモーションの公的健康被害の展開を、まさに最初の Covid ワクチンによる死と傷害の発生以来、観察してきた私には、ある隠れた生物テクノロジーのメカニズムがそこにあることが、明かになった。そのメカニズムの第一の目的は、(1) ワクチンの犠牲者を殺す過程を遅延させること、それに (2) 「ワクチン」障害の発現をやや緩やかにすることだった。人間の生物組織の、故意の、かつ永遠の改変によって起こされる諸々の障害は、もちろん、急速に展開する人間改造 (transhumanism) アジェンダと歩調を合わせるという、明確な目標があった。——以下に暴露されるものは、さ

まぎまの Covid「ワクチン」の鍵となる構成物を、かなり簡潔に説明することになり、こうした人間改造の基本を明らかにすることになる。このような驚くほど知能的で衝撃的な、武器化された注射を作り出すには、あらかじめ十分考えることが必要で、これは「Covid スーパー・ワクチン接種アジェンダ」を通じて、障害と/あるいは死を目的とする、十分に考えられた計画を証明するものである。

インターネット上に最初の論文 *COVID-19 Quarternary Weapon System* を書いたので、私は、下に説明されている「Covid ワクチン 2 元武器システム」が、かなりうまく展開されていることが確認できる。これは現在、証拠が明かになっていて、織合わされた生物兵器の技術と戦略とテクノロジーが、現行の、人間に対するこの生物戦争全体を通じて、利用されているのである。また指摘すべきことは、これら兵器化された「ワクチン」の有害な心理学的効果が、今、世界のあらゆる社会で現れ始めたということである。長期間のアメリカの患者や外国の診療依頼者が、すでに極端な体調変化を表わしつつあり、それは彼らの通常の気分、振舞い、人格、情緒 (affect)、投影、伝達パターン、性格の特徴などの変化に及んでいる。今明らかになりつつあることは、下に詳しく説明されている詳細が、これら人格の劇的な変化の多くを、説明することができるということである。したがって、人々はどこにいても、特にワクチンを打っている人々に対しては、どんなことでも、憤慨や挑発を避けることが大いに奨励される。

(以下、翻訳省略)

[訳者 Greatchain 注]

ここに Infowars と SOTN の 2 つの論文を縮小して翻訳したが、今起こっていることが、人間に悪意をもつ者たちの恐るべき計画であり、これが堂々と（しかし無知な者たちには密に）行われていることがわかる。この最後の太字で強調した部分に注目されたい。我々はこういうことが起こっていても、それほど頻繁ではないと信じたいが、こうした例の大多数が、たくみに隠されているものと考えるべきであろう。このような結果になる予言めいたことは、かなり前から言われており、人間の「ゾンビ化」というのがそれに当たるであろう。これが現実になっているとしたら恐ろしいこととである。

ファイザー社元副社長のマイケル・イードン博士などは、このワクチン運動は「人殺し」運動だと公然と言いつつ続けた。私がここに取り上げただけでも、無数の良心的で有能な学者や研究所が、同じような警告を発している。にもかかわらず、この悪魔的集団はそれを抑圧し続けている。そして我々は騙され続けている。mRNA コロナ「ワクチン」の開発者にノーベル賞が贈られ、多くの人々を救った功績が称えられている。我々はそういう世界に住んでいることを承知していなければならない。